

ミヤマウズラ

[草本] 《忌避》



照葉樹林の林床によく見られる。



葉の斑紋。

区別のポイント

葉の表面は濃緑色地に白色の網目模様があり、裏面は淡緑色。

形態 多年草。地生のラン。

分布 全国

名前の由来 葉の模様から。

葉 〈全体〉長さ2～4 cm、幅1～2.5 cm、広卵形～披針形。

〈付き方〉互生。下部に数個集まって付く。

〈葉先〉鈍頭。

〈縁〉全縁。

備考

出典 4, ※